

令和3年度

「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」

# 相双域内選考作品集



福島県教育庁相双教育事務所

表紙絵

題『くじらぐもとあそんでいる』

きくち なつき  
菊地 夏紀 さん

(相馬市立中村第一小学校1年生)

## 令和3年度「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」

### 相双域内選考作品集の刊行にあたって

福島県教育委員会主催の「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」は、子どもたちが、学校や家庭、地域の人との体験活動や交流活動の中で感じた思いや願いを、17音で表現することを通して、子どもたちの豊かな心を育てるとともに、人と人との絆を深めることをねらいとしています。

平成14年度にスタートした本事業は、今年度で20回目を迎え、県全体で42,983組の応募がありました。

相双域内からは、「絆部門」に4,511組、「ふるさと部門」に1,833組、合わせて6,344組の応募をいただきました。その中から最優秀賞に2組、優秀賞に3組、佳作に1組が入賞しました。県全体の42,983組の中から選ばれたことは、素晴らしいことです。

この選考作品集は、相双域内から応募された6,344組のうち、入賞作品、二次審査通過作品及び一次審査通過作品の327組をまとめたものです。

特に「ふるさと部門」では、離れた場所からふるさと思う気持ちや震災後のふるさどが復興に向けて変わっていくことへの思いを表現された作品が多く寄せられました。

このようにたくさんの応募があったことは、相双域内の皆様に、本事業の趣旨を十分に理解していただいていると、改めて実感しております。これからも、人と人とのつながりと豊かな体験活動等を通して、さらに家庭や地域の絆を再確認する機会となるよう本事業に取り組んでいただければと思います。

最後に、毎年本事業にご協力をいただいております各市町村教育委員会をはじめ、各学校、関係機関並びに作品を応募された皆様に心より感謝申し上げます、刊行のあいさつといたします。

令和4年1月

福島県教育庁相双教育事務所長 塙 広治

### 掲載作品組数

所属学年	絆部門	ふるさと部門
幼稚園年長	1	
小学1年生	37	9
小学2年生	26	9
小学3年生	23	5
小学4年生	25	13
小学5年生	23	10
小学6年生	26	13
中学1年生	30	16
中学2年生	25	6
中学3年生	20	10
合計	236	91

最優秀作品（絆部門）

息合わせ  
奏でた夏の日  
忘れない

中村一中 三年 松本 莉桜

残響音  
しみてぼやける  
友の顔

中村一中 三年 羽山 菜子

最優秀作品（ふるさと部門）

とりもどす  
自然の光  
ホタルの灯

いいたて希望の里学園 六年 小林 桃

復興の  
稲穂がゆれる  
田園に

母 小林 智美

優秀作品（絆部門）

おふとんを  
そっとかけよう  
ねてるはは

中村二小 二年 目黒 翔太

本当は  
おきていたけど  
ねてるふり

母 目黒 京子

優秀作品（ふるさと部門）

2年ぶり  
騎馬武者姿  
勇ましく

中村一小 四年 佐藤 太一

駒音の  
響く行列  
宇多郷に

祖父 遠藤 満雄

料理する  
タコのラベルに  
相馬港

向陽中 一年 青田 姫来

人々の  
思いを紡ぐ  
海産物

父 青田 健

佳作作品（ふるさと部門）

夏が来た  
旗を追いかけて  
馬かける

原町一小 六年 豊田 聡一郎

朝まだき  
常歩速歩  
出梅の頃

母 豊田 明子

二次審査通過作品（絆部門）

シユウマイカ ショウロンボウかな ぎょうぎだよ うちぎょうぎ つつむときから おおさわぎ	桜丘小 一年 母	木村 譲 木村 華
いもうとに はじめましてと ごあいさつ おはようと あいさつする子 一人増え	飯豊小 一年 父	齋藤 結斗 齋藤 健二
手をつなぎ 兄妹であるく さんぽ道 いもうとは ちよっとおてんば かわいいな	原町三小 一年 父	平出 純也 平出 悠真
まかせてね 今度はわたしが お姉ちゃん 姉業立ち 次女が覚醒 姉の真似	原町三小 四年 父	岩間 そよか 岩間 伸文
スマートフォン 孫が私の 先生だ 先生と よばれて調子に のる私	桜丘小 五年 祖母	阿部 陽子 阿部 心菜
夏休み ただいま料理の 修業中 お料理の 師匠と言われ ニヤケ顔	川内小中学園 六年 祖母	緒方 穂乃花 緒方 カネ子
会えなくて リモート覚えた 祖父母たち 孫可愛い だけと来るなど 言う矛盾	向陽中 一年 祖母	杉本 優奈 渡部 喜世美
ミスしても 次のシャトルは 決めてやる 受けて立つ 子の頑張りに 母燃える	鹿島中 一年 母	永林 優依 永林 優子
ひいばあ の 背中で聞いた 七つの子 迎え火が 照らす思い出 祖母の声	中村一中 三年 母	佐藤 結花 佐藤 麻美

二次審査通過作品（ふるさと部門）

陽をあびて すくすく育つ 大豆たち  
震災後 地域で支える 田と畑

小高小 三年 父  
木幡 千咲  
木幡 孝行

一次審査通過作品（絆部門）

【幼稚園 年長】

悪ふざけ しょうはぼくの お兄ちゃん  
兄ちゃんの いいところだけ まねしてね  
(相) 大野幼稚園 年長 母

【小学校 一年生】

あさがおが さいたかずだけ おしえたい  
早朝に 朝顔咲いたと 元気な子  
福田小 一年 母

おばあちゃん タブレットひとつで つながれる  
週一が いつの間にか 毎日  
新地小 一年 母

カプトムシ とった方がいいが さわれない  
けっきょくは 父が育てる カプトムシ  
(相) 大野小 一年 父

ごはんまだ おじゃきにせがむ わが息子  
昼ごはん 母を悩ます 夏休み  
(相) 大野小 一年 母

おばあさん てづくりマスク 大きすぎ  
伝わるよ マスクごしでも その笑顔  
八幡小 一年 祖母

つきはいつ かえってくるのと パバにきく  
コロナ禍で 帰れないので スカイプで  
中村一小 一年 父

夏休み 元気伝える 絵はがきで  
絵はがきで 絆つながる 祖母と孫  
中村一小 一年 母

なつやすみ はつしゅくだい ていねいに  
ワクワクな おすめのすがた ほっこりと  
中村二小 一年 母

なつやすみ ずっとつづけば いいのにな  
夏休み 早く終われば いいのにな  
中村二小 一年 母

わたしやる なんでもしたい おてつだい  
増える手間 それでも嬉しい 子の気持ち  
桜丘小 一年 母

渡辺 珀時  
渡辺 真澄

加藤 終真  
加藤 香織

藤田 鈴和  
藤田 麗子

諏訪 純大  
諏訪 義忠

諏訪 純大  
諏訪 真由美

今野 海空斗  
今野 典子

村田 尚  
村田 和彦

武澤 莉久  
武澤 汐里

大澤 彩海  
大澤 望

伊東 大海  
伊東 貴栄

石川 楓悠  
石川 順子

なつやすみ うみにいきたい あめばかり  
風呂の中 家族みんなで 海ごっこ

飯豊小 一年 父

池田 彩寧  
池田 雅弘

さらあららい きょうもはりきり ビカビカに  
まかせてと はりきる娘は たのもし

鹿島小 一年 母

吉田 澄星  
吉田 智子

やさしいたち おおきくなって びっくりだ  
真っすぐに 大きなあれ 子と野菜

日立木小 一年 母

星 めい  
星 まい

なつやすみ まいにちははる きんメダル  
よくやった 最後の日まで 完走だ

鹿島小 一年 母

堀内 美真  
堀内 有希子

ピアノひく ねえねといっしょ たのしいな  
これからも 姉弟の音 奏でよう

原町一小 一年 姉

小原 奏音  
小原 歩花

おかいもの おもたいふくろ ぼくもつよ  
ありがとう 小さな紳士 頼もしい

鹿島小 一年 母

岩佐 湊  
岩佐 舞

だいでG.O ゆなちゃんのせて おてつだい  
油菜ちゃんを 福島逸品 目標に

原町一小 一年 母

池田 羽奏  
池田 真由美

あさがおの かんさつたのしい なつのおあき  
元気でる あさがおに似た 子の笑顔

鹿島小 一年 父

坂下 杏花  
坂下 瑛紀

パパとママ ぼくふたりとも だーいすき  
どっち好き? 息子の答え パーフェクト

原町二小 一年 母

菅野 駿人  
菅野 若菜

ほんものの ほうちようもって おてつだい  
おみそしる 「つくったんだよ」と 自慢気に

鹿島小 一年 母

多田 結月  
多田 亜紀子

あついよる パバくっついて あせをかく  
愛でる子の 寝顔寝汗の 熱帯夜

原町二小 一年 父

平岡 緋莉  
平岡 貢瑠

かぶとむし ぼくのところに またおいで  
きとくる まいにちエサを あげたもの

鹿島小 一年 母

菅野 玲音  
菅野 あゆ美

ままれても もってるうちわ とまらない  
寝汗かく 腕におさまる 宝もの

原町三小 一年 母

紺野 駿  
紺野 恵美

打った球 父のあたまを はるか越え  
いい球だ 掴んだものは 子の心

上真野小 一年 父

梅田 大暉  
梅田 貴弘

おやすみと 息子も寝させぬ 我がいびき  
お父さん いびきがでかくて ねれないよ

原町三小 一年 父

渡部 朗人  
渡部 蓮

おいしいよ おすしとケーキ はいどうぞ  
コロナ禍の 外食気分 折り紙で

小高小 一年 母

片岡 晁琉  
片岡 真喜子

家族思う ノコギリ引くたび 光る汗  
しごばで ちぢみるせなか だいたいりょう

原町三小 一年 父

松本 智勝  
松本 和

ななさいの まなつのおとまり だいぼうけん  
祖父母の家 LINEで確認 子の笑顔

葛尾小 一年 父

本多 桃子  
本多 貴之

おにいちゃん けんかするけど 大すきだ  
川の字の 寝顔をながめ 顔ゆるむ

原町三小 一年 父

千葉 雅生  
千葉 友裕

おべんとう あるとうれしい ミニトマト  
ミニトマト 今年も豊作 我が菜園

川内小中学園 一年 父

渡邊 隆乃心  
渡邊 一道

ことしはね かんじのべんきょう がんばりたい  
いつまでも 続くといいな そのやる気

石神一小 一年 母

矢野馬 春人  
矢野馬 万貴

おべんとう あるとうれしい ミニトマト  
ミニトマト 今年も豊作 我が菜園

川内小中学園 一年 父

渡邊 隆乃心  
渡邊 一道

我が子らと ツバメの子供 重ね見る  
おとうとと つばめのすたち おうえんだ

石神二小 一年 母

小林 幸子  
小林 泰生

おべんとう あるとうれしい ミニトマト  
ミニトマト 今年も豊作 我が菜園

新地小 二年 母

秋田 明里  
秋田 千穂

じいちゃんち あそんだブルー みずでっぼう  
孫が為 水張るブルー ありがたし

石神二小 一年 母

佐藤 維香  
佐藤 啓子

ねるときは 毎日ママの 争奪戦  
ままがいい はっきり言われ パパシヨック

駒ヶ嶺小 二年 父

鈴木 結仁  
鈴木 優仁

さあやるぞ ラジオたいそう おじいちゃん  
早朝の めざまし時計 孫の声

石神二小 一年 祖父

武内 翔太郎  
武内 敏英

おとうさん まだまだだっこで あまえたい  
腰痛を 堪えて感じる 子の成長

(相) 大野小 二年 父

笹木 心陽  
笹木 祐司

【小学校 二年生】

たまごやき 100点まん点 おいしいよ  
娘作 たまご焼き食べ 笑顔咲く

中村一小 二年 母  
佐藤 ひなた  
佐藤 美佳

妹に ゆずるよママの てを  
寂しげな 君の笑顔が 身に沁みる

原町三小 二年 母  
草野 ほたる  
草野 真理菜

夢を見た オリンピックに 出る姿  
ゆめじゃない オリンピックで はつとくてん

中村一小 二年 母  
加藤 知奈美  
加藤 颯騎

野球して ポールなくした ホームラン  
草むらさ 探す背丈が また伸びた

石神二小 二年 父  
安藤 龍之介  
安藤 正太郎

繋ぐ手が 曾孫に繋がれ 老いの夏  
ばあちゃんに おくるわたしの まほうの杖

中村一小 二年 曾祖母  
渡部 糸子  
上原 莉夢

ぼくのナス カレーにいたら おいしいよ  
みじん切り 食べてほしいな 夏野菜

石神二小 二年 母  
荒 宗獅  
荒 七重

あいたいな 大きなプールと ばあちゃんに  
コロナ禍で 実家に帰れず 早二年

中村一小 二年 母  
小山内 陽  
小山内 千裕

感無量 七と二十歳の 晴れ姿  
うれしいな ねえねときもの ハイポーズ

石神二小 二年 母  
古川 亜希子  
古川 心陽

いたぞいた 大きなみきに カブト虫  
またふえた ゼリーとかごと かぶと虫

中村二小 二年 祖母  
佐藤 希空  
佐藤 享子

ふしぎだな ママの手にぎると ほっとする  
いつまでも つないでいたい 心と手

鹿島小 二年 母  
遊佐 暹愛  
遊佐 寿里

ママねよう やくそくしたのに もうねてる  
寝た子らに ママのふりして ほっぺにチュウ

桜丘小 二年 父  
國分 桜志  
國分 伸志

かくれんぼ ちよっと待ってて そのまんま  
パパのこと わずれてママと おかいもの

上真野小 二年 父  
天野 勝弥  
天野 陽彩

父さんに しょうぎでかてて うれしいな  
勝つよりも 負けるの大変 子と将棋

桜丘小 二年 父  
塚田 裕斗  
塚田 祐一

おひっこし 今日からここが ぼくのへや  
別々に 寝ると思いきや 川の字に

なみえ創成小 二年 母  
松林 佑人  
松林 詩織

ばあちゃんは でっかいでかい 水ぎきる  
恥もなく 孫と泳げる 夏休み

飯豊小 二年 祖母  
鈴木 洋香  
鈴木 幸美

きもちいな ひとりでてんしゃ かぜをきる  
手を添えて チャリと併走 汗たぐよ

広野小 二年 父  
大和田 咲那  
大和田 孝英

うちの犬 さんぼのじかん なぜわかる  
右手犬 左手息子 さんぼ道

飯豊小 二年 母  
赤石澤 透雅  
赤石澤 由美

フィールドを ボールめがけて かけまわる  
熱戦に 手に汗握れど 黙援で

日立木小 二年 父  
唯岡 大晟  
唯岡 成好

むかえびで ごせんぞさまと 花火する  
たくさんの 命のリレーに 感謝して

新地小 三年 母  
伊藤 歩  
伊藤 佳枝

ハイチーズ わらったかおに えくぼでた  
誰似かな 笑うと分かる 同じ顔

原町一小 二年 母  
佐藤 權大  
佐藤 久美子

山のぼり 手と手をつなぎ 歩いたよ  
すわりこむ 弟にそっと さし出す手

新地小 三年 祖母  
鈴木 利津  
菅野 優子

ボイスメモ ばあばにおくる 子守歌  
眠れない 孫の歌聞き 癒される

原町二小 二年 祖母  
大橋 八真斗  
紺野 寿枝子

夏休み いっぱいいいたよ カプトムシ  
前の日に 蜜を仕込んで 準備する

新地小 三年 父  
吉田 悠真  
吉田 正夫

あきらめず 手にまめつくった さかあがり  
信じてた あなたの努力 金メダル

原町三小 二年 母  
門馬 華奈  
門馬 美幸

なんねん後 パバに会えるか いつもきく  
いつ逢える 画面に映る 子をなでる

駒ヶ嶺小 三年 父  
三浦 泰一都  
三浦 昭一

虫メガネ はっぱをかくだい 毛があつた  
兄妹で 交互にのぞく 庭の草

原町三小 二年 母  
宮本 知範  
宮本 理美

ママ見てよ ぼくがおさら あらったよ  
ありがとう 洗剤容器 空っぽだ

駒ヶ嶺小 三年 母  
木村 星斗  
木村 由加

【小学校 三年生】

ふくしまへ エールをおくる そ父の花  
祖父の花 見る孫の顔 誇らしげ

(相) 大野小

高玉 結太  
高玉 宏太郎

夏休み ゲームで終わる おそれあり  
夏休み 遊び相手は ここにあり

大妻小 三年 姉

鴨川 鈴音  
鴨川 絃音

じいちゃんのみまい行くのも ママ一人  
コロナ禍で 父子踏ん張る 母の留守

(相) 大野小

須藤 万椰花  
須藤 康宏

釣りへ行き 何も釣れずに 赤っ恥  
つりへ行き やっとつれたぞ 思い出が

石神一小 三年 父

大谷 智史  
大谷 綾乃

母思い 好物そなえ 盆むかえ  
盆の入り 迎火焚いて 家族集う

中村一小 三年 父

佐藤 帆乃果  
佐藤 純一

おくれちゃう あわててはいた 母のくつ  
シエア出来る 楽しみ一つ 増えたかな

楢葉北小 三年 母

渡邊 莉央  
渡邊 衣理

水かけて できたにじ色 見えるかな  
水滴光る 花に重なる 亡母の笑顔

中村一小 三年 母

佐藤 穂香  
佐藤 かおり

じいちゃんそだてたやさしい おいしいな  
孫笑顔 美味さ倍増 夏野菜

広野小 三年 祖父

松本 航河  
北郷 幹夫

本当は きらいだなんて 思っていない  
反抗期 寝顔見ながら 懐かしむ

中村二小 三年 母

本郷 琉奈  
本郷 玲奈

【小学校 四年生】

お手つだい 母のしれいで 動きだす  
お願いね 指令無しでも 動いてね

桜丘小 三年 母

高野 凌雅  
高野 千晴

ただいまと 母向かう先 台所  
おかえりと あったらしいな 晩ご飯

駒ヶ嶺小 四年 母

菊地 芽生咲  
菊地 由梨

やさしい目 ぼくを見守る 母の顔  
子の視線 目と目を通じる マスク禍な

桜丘小 三年 母

大江 咲太朗  
大江 理絵

お手伝い せんたくほしで ママ気分  
干し方に 手を出したいが 母がまん

(相) 大野小 四年 母

志賀 莉桜菜  
志賀 真実

だいじょうぶ 「ねつさまシート」 はってやる  
ありがとう 「孫のやさしさ」 目がうるむ

磯部小 三年 祖母

鈴木 麻家  
原田 せい子

家の中 誰かのそばに 居なくなる  
気がつくとき 私の回り 密になる

山上小 四年 母

齊藤 琉偉  
齊藤 良恵

助けたい 小さないのち 一一九  
大病 命のバトン 絶やささない

原町一小 三年 母

荒 愛羽路  
荒 恵理

はずかしい おかあさんと手 つなぐこと  
さびしいね もうにぎれない 息子の手

中村二小 四年 母

櫻井 李琉  
櫻井 美樹

夏休み つめたいアイス たいりようだ  
冷凍庫 アイスばかりが 底をつく

原町一小 三年 母

齊藤 竜也  
齊藤 陽子

山こえて 会いたい気もち 届けてね  
会えぬ日々 文重ね待つ 再会の日

中村二小 四年 叔母

佐藤 かれん  
足達 友美

「おいしいな」 ばあばのおはぎ 金メダル  
「ありがとう」 孫の笑顔に 力沸く

原町一小 三年 祖母

加藤 寿奈  
加藤 祐子

よていより 早く生まれて もう十才  
これからも 家族皆で 見守るよ

中村二小 四年 母

仲谷 瞬  
仲谷 安沙子

大空に とべとべアゲハ 元気でね  
苦手でも 娘のために がまんがまん

原町二小 三年 母

小林 怜愛  
小林 こずえ

母のクツ ふざけてはいたら 丁度いい  
七分袖 一年前は 十分袖

桜丘小 四年 母

森 煌太  
森 静乃

ご先祖に 線香あげて 手を合わせ  
お祈りを する背中すら 大人びて

原町二小 三年 父

三瓶 真璃  
三瓶 将

妹と ママのふとんを うばいあう  
大好きよ いつまで隣で 寝てくれる

桜丘小 四年 母

菊地 優吾  
菊地 里美

そうそ母に 会える気がして 手を合わせ  
過ごせると 今年の夏も 思ってた

原町三小 三年 母

前田 樹里  
前田 望

夏休み いってらっしゃい お仕事へ  
いってきます 期間限定 お見送り

飯豊小 四年 母

高玉 莉璃亜  
高玉 康江

おばあちゃん また来週も くるからね  
祖母と孫 バイバイしてから 離れない

飯豊小 四年 父 佐藤 静波  
佐藤 栄伸

きまったよ 毎日練習 ストライク  
グローブに 伝わる力 重くなる

日立木小 四年 父 岡田 優月  
岡田 淳

いつまでも 子どもあつかい しないでね  
いつのまに てかげんいらぬ おにごっこ

原町一小 四年 父 梅田 笑瑠  
梅田 功太郎

コロナかで コクワと一緒に ひきこもる  
帰り道 拾ったクワガタ そっと持ち

原町二小 四年 父 石川 千紘  
石川 貴史

あせだらけ スライディングで どころだらけ  
土まみれ 洗う衣類に 光る汗

原町三小 四年 父 草野 颯樹  
草野 雅人

孫を待つ 早く会いたい 祖父と祖母  
会いたいな じいじばあたん 元気かな

原町三小 四年 父 北山 純  
北山 幸愛

ふきはじめ ふけたうれしい がんばれた  
光る汗 りりしい姿 金管音

高平小 四年 母 高平 あかり  
高平 英子

コロナ禍で 会えぬ曾祖母 画面越し  
コロナされー 早く触れたい ひ孫の手

太田小 四年 曾祖母 半杭 澤  
半杭 アサ子

じゃがいもを いっぱいもらって どうしよう  
お母さん 肉じゃが いっしょに 作ろうよ

石神二小 四年 母 斎藤 美穂  
斎藤 優芽

まだまって おふる勉強 より五輪  
早くしろ 言ってる親も 五輪観る

石神二小 四年 父 藤原 翔太  
藤原 隆永

お母さん そろそろかなと 外で待つ  
おかえりと 手を振る姿 ほっとする

鹿島小 四年 母 多田 逞真  
多田 祐子

背のびた そろそろ母に おいつくぞ  
いつの間に 夏前までは 肩の下

鹿島小 四年 母 秋保 咲綾  
秋保 加奈子

娘が拾う ボールめがけて 砂ダイブ  
砂まみれ 必死に飛びつく ビーチバレー

鹿島小 四年 父 森 雄太  
森 一彩

うつつてる きらきら青く あづまの空  
ありがとう 球技の力 追い風に

広野小 四年 父 市川 真希  
市川 哲央

### 【小学校 五年生】

ばあちゃん 仲良くお話 画面越し いたて希望の里学園  
故郷の 匂い包みて 送る愛 四年 母 山口 藍世  
山口 梨佳

背中から こっそり今日も 背くらべ  
まだまだよ いつかは追い越す 背丈かな  
亡き祖母が のこした梅を ぼくがもぐ  
子がもいで 私が漬ける 義母の梅

福田小 五年 母 塩沼 雄哉  
塩沼 早奈恵

休みなく 働くばあばに 金メダル  
メダルより 孫の笑顔が 嬉しくて  
だいじょうぶ？ 朝行く母と 別人だ  
復活よ 留守番してた 子の笑顔

新地小 五年 祖母 齋藤 葵  
加藤 のぶ

肩こりで もんでもんどと 母さわぐ  
子の指庄 疲れふきとぶ さあ仕事!!  
毎日だ 母のカミナリ ぼくの空  
耐える日々 私の天使 今いずこ

駒ヶ嶺小 五年 母 八巻 龍芽  
八巻 恵美子

悔やむ前 老け込む前から 日焼け止め  
気にしない テニスでがんばる 夏の空  
ぼくが焼く たまごでみんなの 笑顔さく  
わが子焼く たまごに宿る 亡母の味

八幡小 五年 母 高橋 美穂  
高橋 ことね

ぼくが参上 じいとばあが えびす顔  
孫が来て 暗い茶の間が 千ワット  
家事手伝い 母の苦勞は メダル級  
母思う 息子の心に 金メダル!

中村一小 五年 祖父 太田 賢吾  
鈴木 建三

じいちゃん 早くお酒 飲みたいな  
後九年 孫と飲む酒 夢に出る  
夏休み きせいすると 一人っこ  
有無言わず 長女受け入れ 感謝のみ

中村二小 五年 母 齋藤 輝大  
齋藤 早苗

桜丘小 五年 母 菅俣 羚  
菅俣 満  
成田 満  
安藤 葵  
安藤 美恵子

夏休み 家族みんなで 家ごもり  
おでかけの 計画だけが たまる夏

久しぶり 祖母の漬物 美味しいな  
おいしいと 食べる姿を いつまでも

うちわ持ち 母にそよ風 服に汗  
晩ご飯 作る私に 子のうちわ風

お母さん はなれていても 平気だよ  
仕事中 ふと思いつく 子の姿

朝練は 好きなピアノで 気分上げ  
弟が 姉の音色で 朝ダンス

日焼けした 弟ほっぺ パンみたい  
よし決めた!! ランチはみんなで ハンバーガー

ぼくの球 父のミットへ 向かってく  
球を受け 力強さに 熱くなる

重いよね ぼく運ぶから 休んでて  
僕持つよ そんな言葉に ときめいて

「うわ、しょっぱい。」 味つけ失敗 五子焼き  
世話焼き母 出しかけた手を そっと置く

じいちゃんは 僕の先生 釣り名人  
孫の竿 見つめてねがう 大漁を

### 【小学校 六年生】

どこの行くの 毎日親に 持ちかける  
どこの行く 妻と二人で 吟味する

父の日に 二はいまでなら つぎますよ  
ありがとう 息子のお酌 いい気分

弟は ぼくの後ろを ついてくる  
思いつく あなたは私に ついてきた

原町一小 五年 馬場 千紘  
父 馬場 利徳

原町三小 五年 矢部 浩輝  
祖母 有我 ひとみ

原町三小 五年 馬場 日向  
母 馬場 育未

原町三小 五年 森島 颯大  
母 森島 祐美子

太田小 五年 小林 瑞季  
父 小林 清紀

石神一小 五年 白鳥 真央  
母 白鳥 麻里子

石神二小 五年 佐藤 佑紀  
父 佐藤 紀美男

鹿島小 五年 原 慶多  
母 原 郁恵

双葉北小 五年 高橋 梨奈  
母 高橋 奈美

楳葉南小 五年 加藤 遥生  
祖父 加藤 喜美男

(相) 大野小 六年 齋藤 結菜  
父 齋藤 清範

中村二小 六年 齋藤 輝  
父 齋藤 裕一郎

中村二小 六年 佐藤 樹  
母 佐藤 真奈美

送り火で ご先祖様を 送り出す  
火を起こす 孫に祖父母も 目を細め

すいか割り 当たったはずが 竹割れる  
昭和の子 すいかの食へ方 志村けん

コソコソと ホームラン目指し 素振りする  
手の豆を 手当てし願う ホームラン

かき氷 母と作った 夏の味  
日盛りや イチゴに練乳 子の笑顔

パーベキュー まだかまだかと 待つ私  
もう7時 汗がしたたる 炭おこし

そっくりさん だれかと思いついた  
写真見て これは娘か いや私

祖母見れず 小六最後の 運動会  
目を細め ビデオ見る母 嬉しそう

お父さん 出張先でも がんばって  
出迎える 最後の宿題 五・七・五

早起きで ぬ水やり お手伝い  
ありがとう 子供と作る 夏野菜

お父さん いつもそうだった ありがとう  
会話を 内容の重み 幸多き

暑い夏 祖母のトマトに かぶりつく  
その顔が 見たくてつくる 夏野菜

夏休み 自分の部屋を 模様替え  
頼られず 寂しさ交じる 親心

たすけ合い 水害ばかりの 夏休み  
消防団 大雨つづく 再出動

手のひらも 足も背丈も 追いつくよ  
子の成長 うれしいよりも 寂しさが

桜丘小 六年 三瓶 隼人  
母 三瓶 望

飯豊小 六年 杉本 渚紗  
母 杉本 李奈

飯豊小 六年 林 創士  
父 林 貴之

原町一小 六年 佐藤 航成  
母 佐藤 愛美

原町一小 六年 北畑 奏海  
父 北畑 浩之

原町二小 六年 船田 心音  
母 船田 久美子

原町三小 六年 前田 陸  
母 前田 望

高平小 六年 梅田 夏杏  
父 梅田 桂一郎

高平小 六年 金子 明日香  
父 金子 良文

高平小 六年 齋藤 光牙  
父 齋藤 貴永

大夔小 六年 岩本 真優  
祖母 前田 いつ子

大夔小 六年 木村 琳音  
母 木村 絹加

石神二小 六年 遠藤 裕也  
父 遠藤 博明

鹿島小 六年 植作 綾菜  
母 植作 真由美

まだだよ 夏のひざしと かくれんぼ  
日傘さす 親は夏バテ 子は元気

たんじょう日 料理囲んで パーティーだ  
ろうそくを ふき消す早さ 一瞬だ

お姉ちゃん 母が仕事で 母がわり  
弟よ 少しは自分で やりやがれ

雨に濡れ かれんな姿 黄色花  
霊前に 手折りし一枝 女郎花

夏休み いとこと遊び たのしいな  
夏休み あつという間に 午後九時だ

あ、似てる シンクロしがち 目をそらす  
似たコーデ 恥じらう娘 気が合うね

母さんに 休けい時間 あげたいな  
ありがとう にいの言葉で フル充電

妹と 母の弁当 手作りだ！  
お姉ちゃん 早く教えて 作り方

### 【 中学校 一年生 】

副反応 熱出し寝込み ダウンする  
ワクチンで 弱った母を 看病す

下手だけど 作ったマスク 家族分  
娘とのお揃いマスク 嬉しいな

けんかする けれど気づけば なかなかおり  
忘れっぽい 其の性格に 救われて

いやされる ひいばあのかつ 妹が  
履かせるよ ひ孫が駆け寄る デイケア日

手を合わせ お墓でまんじゅう いただきます  
食え食えと 祖母の笑顔が 胸の中

鹿島小 六年 母 多田 和香菜  
多田 みちえ

八沢小 六年 母 紺野 虎太郎  
紺野 めぐみ

八沢小 六年 姉 三浦 大和  
三浦 海弥

上真野小 六年 祖母 半田 彩奈  
半田 トク

小高小 六年 従妹 石川 きらら  
福田 華

広野小 六年 母 馬上 心春  
馬上 直子

広野小 六年 母 青木 虎  
青木 綾乃

広野小 六年 妹 齊藤 夢来  
齊藤 陽莉

尚英中 一年 母 杉江 裕子  
杉江 絵莉香

中村一中 一年 父 松本 心優  
松本 親

中村一中 一年 父 田原 愛姫  
田原 啓太

中村一中 一年 母 吉田 あゆむ  
吉田 みゆき

中村一中 一年 母 佐藤 光  
佐藤 麻美

コロナでも 絶えずに続く 家族の輪  
反抗期 だけど最後は 笑い合う

盆提灯 今年が僕が 飾るから  
迎盆 息子の背中 頼もしい

グータッチ 心の中では ハイタッチ  
「拍手だけ」 心の中では 応援歌

手荒れした 母の代わりに キッチンへ  
キッチンの 息子見ながら 葉塗る

お焚き上げ 祖母の帰り 道しるべ  
精霊馬 祖母の好物 おみやげに

百迎え 思い出めぐる 一世紀  
祝百寿 僕らとともに これからも

一味同心 磯部見守る 通学路  
飲水思源 地域一丸 子育ての輪

話したい 笑顔で見てた 日々一緒  
最初のね こんにちはでね 今がある

コロナ禍で 思わぬ増えた 家族時間  
怒られる 回数増えた 家族時間

朝歩む 君との時間 一瞬で  
次の日も 君との登校 待ち望む

父と子が テニスをするよ 家の庭  
まかせとけ 気合いはあるが 空振りだ

夕方に 台所から いい香り  
車降り 換気扇から いい香り

東オリで モッコが結ぶ 世の平和  
世に届け 東京五輪 子の想い

なにもかも イライラするの 反抗期  
更年期 たたかう相手 反抗期

中村二中 一年 母 但野 蓮  
但野 麻美

向陽中 一年 父 星 来嬉  
星 勇一郎

向陽中 一年 母 松本 裕矢  
松本 裕美

向陽中 一年 母 篠山 悠人  
篠山 順子

向陽中 一年 母 杉本 蒼空  
杉本 恵美

曾祖母 向陽中 一年 母 細田 スイ  
佐藤 優介

磯部中 一年 母 阿部 智優  
阿部 栄子

原町一中 一年 母 伊藤 綾音  
高力 美空

原町一中 一年 父 長谷川 剛史  
長谷川 喜生

原町一中 一年 母 三浦 暖乃花  
馬場 琉羽奈

原町一中 一年 父 齊藤 凛  
齊藤 和博

原町一中 一年 父 菊地 敬志  
菊地 充輝

原町一中 一年 父 関口 颯奏  
関口 敬章

原町二中 一年 母 高野 七夢  
高野 桂子

これからは 私に任せて お弁当  
おままこと していた娘が 料理する

夏休み アイスくわえて 勝負する  
今時の ゲームの話題に ついてはず

また来たよ と手をあわせる 墓参り  
よく来たね と言ってるような 青い風

うれしいな 姉のゆかたで 夏まつり  
祖母唄う 相馬盆唄 思い出す

お母さんの 肩カチガチで 石みたい  
マッサージ 娘の癒やし 明日の糧

迎え火で ご先祖さまが 里帰り  
雨が降り 花火で導き はしゃぐ子ら

朝昼夜 ママが作るお料理 おいしいな  
休み明け 今年も手首は 腱鞘炎

初帰省 今日の夕食 母の肉じゃが  
何作ろう 君を想って 献立て作り

大歓声 会場並みの 一体感  
画面越し メダルの瞬間 ハイタッチ

### 【 中学校 二年生 】

亡き祖母の 遺した袖子に 花が咲く  
昼下がり 庭に咲く花 義母偲う

練習着 汚れた分だけ 強くなる  
まっ黒な 練習スポンを まっ白に

中学で 始めたピアノ 極めたい  
始めるに 遅いはないと 娘に習う

酒飲み日 祖父と一緒に 待ちわびて  
頑張るぜ 孫と酌が 出来るまで

原町三中 一年 母 鈴木 春花  
鈴木 恵美子

石神中 一年 母 佐藤 瑞音  
佐藤 陽子

鹿島中 一年 母 伊在井 謙介  
伊在井 真希

鹿島中 一年 母 森 安南  
森 明美

鹿島中 一年 母 田作 珠徠  
田作 有由美

小高中 一年 母 小山 颯仁  
小山 敬子

大熊中 一年 母 齋藤 羽菜  
齋藤 やよい

広野中 一年 母 菊地 大翼  
菊地 淳子

川内小中学園 七年 母 遠藤 陽菜  
遠藤 洋子

尚英中 二年 母 荒 蒼依  
荒 千代子

尚英中 二年 母 志賀 早苗  
志賀 珀斗

中村一中 二年 母 篠山 侑希  
篠山 美紀

中村一中 二年 祖父 今村 理太郎  
今村 清忠

疲れ顔 見せたくないが 見られてた  
コロナ禍で 仕事おつかれ お母さん

遠慮せず 使ってみるね 君の手を  
つえがわり つかってみてよ ぼくの手を

コロナ禍で 家族の絆 深まりあう  
コロナ禍に 負けずと生きて 米寿かな

寝坊した 朝顔は青 母は赤  
時計見て 飛び出た声は 蔓揺らし

家族の輪 オリンピックで 深めあう  
金メダル 家族みんなで ハイタッチ

なやみ事 相談できる 人がいる  
辛いとき 聞いてあげるよ いつでもね

写真見る 鼻水垂らす 3歳児  
時がたち 泣き虫息子も たくましく

母親に うるさいなと 反抗期  
そう来たか 素直なあの子は どこ行った

ドアを開け デカイ声で たいまと  
おかえりと 言える幸せ 感じてる

気をつけて 母の言葉に がんばれる  
気をつけて 後ろ姿に 声かける

ナス、トマト 人からいたたく 地域の絆  
頂いた 野菜のお礼は 子の笑顔

夏休み 外出自粛で アニメ見る  
夏休み オタク化していく 我が息子

和スイーツ ひんやりうまい 暑さどぶ  
ステイホーム 息子と和む 和スイーツ

しょっぱいな 初めて知った 海の味  
海よりも 娘の笑顔 まぶしいな

中村一中 二年 母 佐藤 栄子  
佐藤 歩

中村一中 二年 教師 山本 美和子  
渡辺 蒼士

中村二中 二年 曾祖母 武澤 大輔  
武藤 マサノ

中村二中 二年 母 四方 聡  
四方 美貴

向陽中 二年 母 杉本 真実  
杉本 育子

原町一中 二年 母 門馬 史玖  
五賀 璃音

原町二中 二年 母 白石 斗真  
白石 陽子

原町二中 二年 母 佐藤 創太  
佐藤 弥生

原町二中 二年 母 井戸川 大嶽  
井戸川 由香里

原町二中 二年 母 林崎 結衣  
林崎 宏実

原町三中 二年 母 杉 陽向  
杉 洋子

石神中 二年 母 伊東 絆  
伊東 由美

石神中 二年 母 遠藤 蒼士  
遠藤 因里

石神中 二年 父 佐藤 美波  
佐藤 芳照

雨上がり 夕焼け空に ペンを置く  
夕焼けを きれいな言える 娘に育ち

鹿島中 二年 母

鈴木 桜子  
鈴木 直子

無観客 思いを込めた ストレート  
集大成 野球で夢見た 熱い夏

中村一中 三年 父

實 佑真  
實 伸一

言いすぎた 肩もみ口実 仲直り  
反抗期 決して揺るがぬ 母の愛

鹿島中 二年 母

鹿又 大志  
鹿又 清美

暑き日に 熱くなれよと 鼓舞し行く  
夏雲の 見送る子の背 自由かな

中村二中 三年 母

橋浦 拓斗  
橋浦 由香里

皿洗い 洗濯たたみ ママ感謝  
母より 器用にこなす 我が娘

稽業中 二年 母

波辺 スバル  
波辺 昭江

暑い中 日々の努力 自己ベスト  
Tシャツで 頑張り伝わる 汗の量

中村二中 三年 母

木村 兼汰  
木村 亜樹

沿道の 笑顔を繋ぐ トーチキス  
未来まで 掲げたトーチ 夢運ぶ

広野中 二年 姉

荒川 莉彩  
荒川 礼奈

もう寝るね そとおやすみ 言ってみる  
目が覚めて 片付けてある 洗い物

向陽中 三年 母

藤田 悠未  
藤田 留美

食べたいな 舌が忘れた 祖母の味  
受け継ぐね 舌が忘れぬ 母の味

ふたば未来学園中 二年 母

齋藤 琴音  
齋藤 環

着れるかな ちちからもらった エルサイズ  
今度は 服のおさがり 父が着る

向陽中 三年 父

山田 啓太  
山田 敏彦

オンライン 回線切れても 以心伝心  
授業中 映らぬ様に 家事控え

ふたば未来学園中 二年 母

村山 吴志朗  
村山 美有紀

夏休み ステイホームで 体カづくり  
夏季休暇 ステイホームで マスク作り

原町一中 三年 母

青柳 颯大  
青柳 圭子

買い物で いつも荷物は 俺が持つ  
末息子 後ろ姿 たくましく

いいたて希望の里学園 八年 母

結城 樹真  
結城 幸

寝る前の 年号暗記 十五分  
息抜きと 塾弁作る 中三生

原町三中 三年 母

岡田 志織  
岡田 幸恵

### 【 中学校 三年生 】

ノーマディア ココロつながり かぞくの輪  
テレビ消し 家族の音が BGM

尚英中 三年 母

若月 美佑  
若月 百恵

やりきった 汗と涙は 金メダル  
がんばれと 見守り続けた 子の背中

鹿島中 三年 母

高橋 杏奈  
高橋 映美

空の下 頂の景色へ 汗にじむ  
あの景色 登った先は 笑顔の空

尚英中 三年 妹

但野 絢弥  
但野 紗弥

新天地 見上げた空に オリオン座  
流れ星に 笑顔の中学生生活 願う春

鹿島中 三年 母

金子 光希  
金子 実聡

塾費用 父の小遣い 減っていた  
たばこ減る 我慢するのは 受験まで

中村一中 三年 父

松本 心花  
松本 親

怒られて 静かに渡す 大好物  
その手には 乗るまいと思うが 甘い母

鹿島中 三年 母

蒔田 愛莉  
蒔田 純子

フルートで 長生きしてねと 奏でたよ  
銀の音に 心も弾む 誕生日

中村一中 三年 祖母

藤原 凜  
村山 光子

「がんばれよ」 はげみになった ははのこえ  
愛溢る 子らの学び舎 永遠に

富岡一中 三年 母

原田 蒼史  
原田 綾子

プレーを見せ 感謝を伝える 親たちに  
夢追って 投げ打つ姿 感無量

中村一中 三年 母

関 颯汰  
関 薫

晴れ舞台 恩師と保護者に 感動を  
あきらめず 仲間を信じ 金メダル

中村一中 三年 母

関 華汰  
関 薫

一次審査通過作品（ふるさと部門）

【小学校 一年生】

しんさいのはなしをきいて、おどろいた 知らないね あの日の様子 伝えたい	中村二小 一年 父 豊田 悠理 豊田 峻司
はしってくる うまはずいな あしはやい ふるさとの 祭りも静か 感涙下	中村二小 一年 母 横山 遼斗 横山 美和子
また今年 会いに来たよ 桃食へに むいて待つ 冬はりんご 夏は桃	桜丘小 一年 伯母 佐藤 春道 佐藤 初代
松川浦 たくさんとれる のりアサリ 松川浦 豊富な自然 生きる糧	飯豊小 一年 母 佐藤 隆太郎 佐藤 文恵
野馬追いを 来年こそは 見てみたい 野馬追いの 狼煙を上げよ 復活だ	太田小 一年 父 高橋 美咲 高橋 司
青い海 被災のかけら どこへやら 未来まで ぼくらが守る 青い海	鹿島小 祖母 大玉 弥生 大玉 烈
はじめての うみづりいった うけどこ 我子連れ 帰って来れた 海のまち	小高小 一年 父 伊藤 勇月 伊藤 勇
おもいだす 天じんみさきの さくらみち 過去未来と つなぐ絆は さくらみち	植葉南小 一年 父 原田 樹 原田 秀一
えんがわで あやとりきょうしつ ばあちゃん あやとりを 教わる私も 一年生	川内小中学園 一年 母 中村 虹笑 中村 由香里

【小学校 二年生】

パパにきく 生まれそだった 家はどこ 震災で 今は公園 新地町	新地小 二年 祖母 角 優莉菜 角 洋子
魚つり つるしの海は 楽しいな 有り難し 故郷の海の 豊かさや	新地小 二年 父 橋 孝太郎 橋 寿史

【小学校 三年生】

およこうぜ 夏といえば つるしはま 山登り 頂上目指せば 鹿狼山	新地小 二年 母 小野田 玲大 小野田 茜
しんさいは わたしがしらない かなしい日 震災で 亡き人思い 海を見る	八幡小 二年 母 玉川 心結 玉川 未歌
うきわもち えがおあふれて なみむかう 潮騒に あふれる笑顔 永遠であれ	中村二小 二年 母 佐藤 蘭 佐藤 友子
パパの町 ニコニコたくさん ふえてるね 故郷を 子らに教えて 復興を	飯豊小 二年 父 鈴木 洋香 鈴木 洋司
なみの子が 赤い海そう プレゼント いやされる きれいな海と いい笑顔	原町二小 二年 母 今田 桃子 今田 純子
うみびらき はまべにひびく わらいごえ いくつかの 足跡遊ぶ 夏の海	原町三小 二年 父 横山 旭 横山 雄斎
はかまいり おぼんでみんな かえって ふるさとに 子の声ひびく 墓まいり	原町三小 二年 母 南 心響 南 佳奈
ぼくは今 BMX れんしゅう中 姉もまた BMX ハマリ中	駒ヶ嶺小 三年 姉 荒 蒼佑 荒 美琴
ありがとう おいしい給食 福島産 わが家でも 新鮮食材 福島産	中村二小 三年 母 吉田 力輝斗 吉田 恵理
故郷の 伝統芸能 子が踊る 今年こそ 田うえおどりが できるかな	原町一小 三年 母 鈴木 春奈 鈴木 寿奈
ひまわりが みんなで僕を みつめてる ふるさとで 青き空見る 日輪草	原町三小 三年 母 岩本 優太 岩本 寿恵
しんさいの こわさが分る でんしよう館 未来へと 想いを伝える 伝承館	石神二小 三年 父 菅野 陽生 菅野 智行

【小学校 四年生】

新地町 魚介も野菜も おいしいよ  
 早十年 食卓彩る 地場産品  
 ランナーの 重い聖火を 持ってみた  
 福島の 想いをつなぐ 聖火リレー  
 ふるさとの ふっこう思い なえ木植え  
 海沿いの 苗木の成長 子の成長  
 デザートに ももがでてきた うれしいな  
 しんさいじ うまれはどちぎ いまそうま  
 暑い夏 パパの背中で 見るかぶと  
 父と見た 野馬追いを今 我子に見せ  
 じょうばん線 ひたちに乗って 出かけた  
 景色見て 笑顔あふれる 我が故郷  
 おいしいね 山さいきのこ 川魚  
 川魚 地元野菜 知らぬ孫  
 震災の 暗闇消えた 原町区  
 野馬追の 花火大会 きれいだな  
 夏休み 来年こそは 帰り馬  
 コロナ禍で またも聞こえぬ 蹄音  
 祖母が言う 私の笑顔が 復興よ  
 復興は 孫の笑顔や 成長や  
 また来てね いなかもいよいよ いとこたち  
 お土産に 福島野菜 持たせるね  
 楽しみだ 父のふるさと 新学期  
 ふるさとの 母校に通う 我が娘

福田小	四年	母	荒 日和 荒 奈津子
新地小	四年	母	山田 眺希 山田 奈美
中村二小	四年	母	志賀 海里 志賀 麻里
桜丘小	四年	父	志賀 美咲 志賀 正隆
桜丘小	四年	父	清水 葵菜 清水 和之
原町二小	四年	母	門馬 未来 門馬 絵美
原町三小	四年	祖母	渡辺 泰翔 渡辺 司子
大夔小	四年	姉	桑原 優香 桑原 真一
鹿島小	四年	父	菅野 心音莉 但野 勝彦
八沢小	四年	祖母	植作 伴帆 志賀 セツ子
上真野小	四年	父	只野 芽依 只野 智由
楢葉北小	四年	父	山内 瑠花 山内 健一

【小学校 五年生】

写真見て 思い出語る 祖父の里  
 ふるさとの 釣師でいつも 初日の出  
 ぼくの町 自然豊かな 海に山  
 海に山 美味い幸あり わが相馬  
 祖母の家 昔は海の 目の前に  
 今は無き 実家の場所は 防波堤  
 背が伸びた 祖父母に会えず オンライン  
 会えずとも 元気をもらおう 子の笑顔  
 野馬追いは 相馬のれきし かたるもの  
 野馬追いは 夏の訪れ 風物詩  
 十才の 記念に柱に 印つける  
 震災の 爪痕旧家に 上書きす  
 野馬追は 南相馬の お宝だ  
 梅雨明けだ 響かぬ馬の いななきが  
 今年こそ 野馬追いと またえんき  
 目を吹く 息子の姿 待ち遠し  
 新しい 町のシンボル 道の駅  
 どこからか 集まる家族の 笑い声  
 スタートが Jヴィレッジで 聖火だよ  
 歓声が 響き渡るよ 聖火の灯

【小学校 六年生】

駒ヶ嶺小	五年	祖父	小野田 真音 持立 勝彦
(相)大野小	五年	母	渡辺 凛時 渡辺 真澄
中村二小	五年	母	佐々木 寧音 佐々木 香菜
桜丘小	五年	父	高田 真翔 高田 智則
日立木小	五年	母	菅野 凜音 菅野 みさ子
原町一小	五年	母	加藤 謙汰 加藤 真紀
石神一小	五年	母	安藤 煌芽 安藤 知恵子
鹿島小	五年	父	北元 恒志 北元 秀明
なみえ創成小	五年	母	富山 泰稀 富山 寿美江
広野小	五年	母	石井 悠翔 石井 美和子
(相)大野小	六年	父	鈴木 ももか 鈴木 政利
中村一小	六年	父	松本 紳 松本 利治

復興で 笑顔を守る 活動を  
 忘れるな 未だに苦しむ 人々を  
 野馬追いの ひづめの音に 胸おどる  
 いざ出陣 来年こそは 夏祭り

映画見て 身近になった 原発の町  
ここに住む 未来のために 過去を知る

福島のと トルコギキョウ 素敵だな  
被災地の 思い伝われ 五輪アーケ

似た顔が 盆に集まる ばあちゃんち  
郷里から 離れて気づく 心地よさ

十年前 復活してきた 福島県  
十年前 ヨチヨチ手をとる 避難所へ

夏になり いろとりどりの 海になる  
少しずつ 昔の海を 取り戻し

勇壮な 行列通らぬ 野馬追通り  
安寧と 繁栄祈る 郷土の祭り

カニつりを 祖父に習って 大漁だ  
かに釣りの 仕掛け思い出し 孫に継ぐ

ふるさとは 野馬追いの里 永遠に  
ふるさとの までの心 伝えたい

フェンス越し ふるさと遠い 記憶かな  
想い出に 確かに残る 町並みが

### 【 中学校 一年生 】

きれいだな 10年前から この景色  
守ろうね 廻ったふるさと いつまでも

海岸の 絶えぬ重機の 機械音  
絶やさぬ 皆の笑顔と 笑い声

夕日背に 伸びる影見て 背くらへ  
夕暮れの 空に響く セミの声

今が旬 祖父の畑の 夏野菜  
ふるさとの 味が育む 郷土愛

中村一小 六年 母

渋谷 佑良  
渋谷 紀子

中村一小 六年 母

五嶋 蓮蓮  
五嶋 由美

中村二小 六年 母

石井 瑛貴  
石井 聡子

桜丘小 六年 母

愛澤 史織  
愛澤 美香

飯豊小 六年 母

一條 千夏  
一條 かおり

原町三小 六年 父

本猪木 莉緒  
本猪木 功

高平小 六年 祖父

新妻 航明  
中村 貞二

石神二小 六年 母

佐久間 倫  
佐久間 里美

広野小 六年 父

作山 歩  
作山 悟

尚英中 一年 母

高野 明飛  
高野 洋子

尚英中 一年 一年

高橋 清都  
大井 蓮生

中村一中 一年 母

阿部 綾子  
阿部 佑樹

中村一中 一年 父

佐々木 汐風  
佐々木 友啓

夢思う いつか初陣 野馬追に  
野馬追いに 父の背を見て いぎ参る

船出する 祖父の背中と ひかる海  
おしよせる 復興の波と 希望の光

街中に 2年ぶりの 騎馬の音  
武者達へ 2年分の ありがとう

味恋し 作った新米 亡き祖父の  
パネル群 脳裏に浮かぶ 黄金色

祖母の味 コツは父から 受け継いだ  
まず一つ ふるさとの味 ほっき飯

復興の トラック走る 通学路  
十年が 過ぎて未だ 復興中

昼はセミ 夜にはカエル 大合唱  
いつの日か なつかしく想う 夏の音

ふるさとは 震災のりこえ 変わってく  
啄木と 思いは同じ ふる里は

木戸川に 釣り人もどり アユ光る  
川に入り 釣りの楽しさ かみしめる

帰省した 息子に一へら 追加する  
愛情を 腹一杯に 帰寮する

祖母宅で お盆の楽しみ スイカ割り  
じゃんがらの 音色を聴いて 盆休み

傷ついて 乗り越えた先に ある笑顔  
窓の外 響き渡るや 虫の声

馬を見て 梅雨明け感じる 相馬人  
城下町 走る馬見て 夏感じ

中村二中 一年 父

岩本 瑠華  
岩本 宏美

向陽中 一年 祖父

横山 亜美  
横山 秀一

向陽中 一年 父

海月 一輝  
海月 大祐

磯部中 一年 兄

渡邊 梨花  
渡邊 海人

原町一中 一年 父

末 彩乃  
末 健史

原町三小 一年 祖母

堀内 来十  
堀内 由子

石神中 一年 母

西内 心春  
西内 ひろみ

鹿島中 一年 祖父

寺島 千紘  
寺島 眞一

楢葉中 一年 母

青木 大空  
青木 春香

広野中 一年 父

田村 高弘  
田村 悠真

ふたば未来学園中 一年 母

矢内 日和子  
矢内 美香

中村一中 二年 父

森 愛斗  
森 英吾

中村一中 二年 母

島村 貴美子  
島村 杏路

野馬追の 馬の足音 響いてる  
心地よい 野馬追の朝 はらのまち

原町一中 二年 渡部 那奈美  
母 渡部 美和子

「田舎やだ」 そうは言うけど 嫌いじゃない  
穏やかに 流れる日々も 悪くない

原町二中 二年 平 みおん  
母 平 友美

三年前 見知らぬ土地が 今、故郷  
故郷と 言う子の背を見て 感謝する

原町二中 二年 荒木 千乃  
母 荒木 純子

ソフトボール 福島発で 金メダル  
復興だ ソフトボールだ いちばんだ

石神中 二年 宮川 望愛  
祖父 八島 義明

【 中学校 三年生 】

花火する 亡き祖父思う 盆休み  
亡き父へ 「ここよ」とつぶやき 夜の花

尚英中 三年 目黒 綺衣  
母 目黒 美和子

楽しそう 釣師の浜に 戻る声  
その声を 自ら発して 復興へ

尚英中 三年 小泉 直大  
父 小泉 亮

大漁で にぎわう相馬 海の街  
にぎやかに 波とたわむれ 相馬の海

中村一中 三年 天野 菜々美  
母 天野 美保

涙海に 賑わう人の 映る笑み  
涙海を 静かに照らす 灯籠火

中村二中 三年 松下 咲良  
母 松下 静香

震災を 知って伝えよう 未来へと  
震災を 学んで生かそう 復興へ

向陽中 三年 二橋 永遠  
祖父 今野 政義

思い出す あの時の風 もう一度  
来年こそ この目でみたい 夏の始まり

原町一中 三年 佐藤 璃奈  
原町一中 三年 中原 美来

青空に 旗高高に 音たてて  
なびく旗 馬の足並 歴史の音

原町一中 三年 葉倉 千尋  
原町一中 三年 大井 紀葉

野馬追が 夏の知らせを つげるかな  
野馬追を 未来へつなぐ わたしたち

原町一中 三年 山田 椿  
原町一中 三年 波邊 心音

空見れば かける騎馬武者 雲見つけ  
野馬追いは 我が地の誇り いと恋し

鹿島中 三年 伊藤 寧音  
母 伊藤 真純



「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」に  
 関するご意見・ご感想（一部抜粋）

- 気がつけば、夏の恒例行事になっていた俳句作り。今年で最後になり、寂しさを感じます。娘との俳句を通しての交流をふり返り、感慨深い思いです。  
 （中学・母）
- 今後とも、続けてほしいです。  
 （小学・祖母）
- 人と人との絆を強める良い事業だと感じました。  
 （小学・叔母）
- 食卓をかこんで一緒に考え、親子で楽しく参加できました。  
 （小学・父）
- 毎年、十七字の課題で子供の成長を感じます。  
 （小学・父）
- 俳句は、夏休みの親子の恒例行事になっています。ちょっと、楽しみでもあり、これからも続けてほしいです。  
 （中学・母）
- 十七字も八年目となり、これまで親子で奏でた作品を懐かしく思い出しました。子どもの成長を感じています。  
 （小学・母）
- 毎年、考えるのが大変ですが、一年に一回、俳句にふれ合い子供と一緒に悩めることが、幸せな時間だと思えます。  
 （小学・母）
- 親子で楽しく、俳句を考えて、会話も弾み、良い時間を過ごすきっかけになりました。  
 （中学・母）
- 一つの思い出やエピソードを話したり、楽しく共有できたりと、良い時間になりました。  
 （中学・母）
- 毎年、子供と一緒に考える時間が楽しく、他の方の作品も楽しみにしています。  
 （中学・母）

- 中学三年となり、夏の終わりに頭をひねるのは、今年で最後になると思うと、ほっとするようなさびしいような気がします。  
 （中学・母）
- どういう言葉を使えば十七字で表現できるか、親子で考えながら作りました。  
 （小学・母）
- 絆を言葉で表し表現できる素晴らしい機会の場をありがとうございました。  
 （小学・祖母）
- お母さんと書いてとても楽しかったです。  
 （義務教育学校・8年）
- 子どもと一緒に楽しんで考えられました。  
 （小学・母）
- 毎年夏休みになると、十七字のふれあいのおかげで、親子の会話が増えます。ありがとうございます。  
 （小学・母）
- この十七字で、明るく元気な福島県を沢山の方々にとって頂きたいです。  
 （小学・母）
- 児童が親のみならず大人と何かを考える一つの機会だと思います。  
 （小学・父）



---

発行：福島県教育庁相双教育事務所 総務社会教育課

〒975-0031 南相馬市原町区錦町一丁目30番地

Tel (0244) 26-1315

Fax (0244) 26-1318

---

